

▽取組事例名	がんばるひと応援事業	▽取組期間	平成22年度～ (継続中)
		▽市町名	大洲市

▽取組概要
魅力ある地域づくりのために頑張るひと（地域、団体等）が自らの創意工夫により地域課題を解決できる環境を整え、地域の一体的かつ自立的発展を図るために実施する地域づくり事業を応援する。

▽取組みの背景
<p>少子高齢化や過疎化の波を止めるのにこれといった特効薬も見当たらず、定住人口を増やすことが難しい状況の中、地域固有の資源の活用や住民の協働による取り組みを推進しながら、地域の活性化につなげていくことが課題となっている。</p> <p>新たな商品の開発や地域の財産の掘り起こしや活用をしていくうえで、初期経費に財政支援を行うことにより取り組みやすい環境を整える必要がある。</p>

▽取組みの狙い・具体的内容
<p>(取組みの狙い)</p> <p>市内に活動拠点を有する団体・地域等が申請することができる事業で、自らの創意工夫により地域の一体化に向けて取り組む事業を対象としており、幅広い分野における地域づくりを応援するものとなっている。</p>
<p>(具体的内容)</p> <p>対象となる事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地場産業を生かした地域ブランドの開発</li> <li>・ 伝統芸能、文化財の保存伝承</li> <li>・ 観光振興、地域の特色を活かしたイベント</li> <li>・ 雇用創出が見込まれるもの</li> <li>・ 高齢者、障害者の活動や生活支援</li> <li>・ 研修会</li> <li>・ 防災訓練やハザードマップ作成</li> </ul> <p>補助率：9/10（補助上限2,000千円）</p>

▽取組みを進めていくなかでの課題・問題点（苦労した点）
この事業を積極的に活用してもらうには、事業内容を広く市民に周知する必要があり、自治会や学校、公民館等へ情報を提供するとともに、広報紙やチラシなどにより制度の周知に努めた。

## ☆工夫した点

### ○補助対象期間の3年間の設定

事業によっては、立ち上げに数年かかるものも予想されるため、同一事業に対する補助期間を3年を上限としている。

### ○審査委員会の設置

申請された事業の審査は、各種団体から選任したメンバーで「がんばるひと応援事業補助金審査委員会」を設置し、公平な審査の元、地域づくりに資する事業内容の精査をしている。

## ▽取り組みの効果

### ○平成22年度

- ・16事業に対し9,206千円の補助金交付

### ○平成23年度

- ・13事業に対し14,459千円の補助金交付

### ○平成24年度

- ・申請のあった12事業に対し17,798千円補助金交付予定

この2年間で計22団体に助成を行い、地場産業を活かした新商品の開発や、子供たちの健全育成・運動向上に関する事業、伝統芸能の復活、地域の商品街の活性化、また、この補助金がきっかけで観光の名所になったところなど、地域の活性化につながる事業が展開されている。

## ▽住民（職員）の反応・評価

事業実績は、申請団体が目標としている数値等を超えており、十分な効果があったものと判断できる。また、地域からも好評価を得ている事業が多く、今後においてほとんどの事業が継続的な実施を望まれている。

## ☆取り組み効果を踏まえたフォローアップ

事業実績や効果及び実施団体の自己評価や今後の取り組み方針などを審査会へ報告し、それらを参考に新たな事業の審査を行う。また、各団体へ補助事業終了後にアンケートによる状況調査を行い、現況把握に努めるとともに可能な範囲での指示・アドバイスを行う。

## ☆将来的な構想のほか、他団体へのアドバイス

### ○団体育成（事業の継続）について

継続事業によっては、3年間の補助金交付期間が終了した後、予算面などの要因で同じような内容・規模で継続的に実施することが難しいものもある。事業を開始するにあたり、将来的な展望も含め、継続が可能となるよう資金面の工夫や役割分担などの準備や調整が必要である。

### ○将来的な構想

人口減少や高齢化が進む中、地域コミュニティの役割は益々重要になってくる。自主的・自発的な取り組みにより地域課題を解消していくことは、地域が元気になること、魅力ある地域づくりにつながることであり、その支援体制として当事業を継続的に実施していく。